

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2014年03月04日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

表題	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2012000066"/> 整理番号 <input type="text" value="11760"/> 担当者 <input type="text" value="松岡 義人"/>
技術分野	<input type="text" value="架橋構造を持つナノファイバー状アルミナゾルおよびそれを用いた高硬度アルミナ皮膜"/> <input type="text" value="無機材料"/> <input type="text" value="化学・薬品"/> <input type="text" value="ナノテクノロジー・材"/>
適用製品	<input type="text" value="高硬度皮膜, 絶縁膜"/>
目的	<input type="text" value="ナノファイバー状アルミナゾルから作製したアルミナ皮膜は、硬度が低いのが問題点であった。そこで、高硬度被膜を作製するため、アルミナゾルをシランカップリング剤を用いて架橋し、それを用いて高硬度アルミナ皮膜を得ることが目的である。"/>
技術概要	<input type="text" value="我々が開発したナノファイバー状アルミナゾルを基板に塗布することにより、厚膜が得られ、その膜は透明で絶縁性に優れるという物性を示す。しかし、このアルミナ皮膜の硬度は低いのが問題であった。そこで、高硬度皮膜を作製するために、ナノファイバー状アルミナゾルをシランカップリング剤を用いて架橋し、架橋型アルミナゾルを作製した。このゾルを基板に塗布した塗布膜を高圧水銀灯で紫外線を照射することにより、鉛筆硬度9H以上の高硬度膜を得ることができた。紫外線の照射という低エネルギーの照射により高硬度膜が得られたので、温度に対して耐久性の弱い基板でも高硬度アルミナ皮膜を得ることができると考えられる。"/>

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所属	役職 <input type="text"/>		
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp